

【基本編】

ステップ 2 基本 5 文型—話の基本骨格を使いこなす

2-2 話の基本骨格になる構文・語法

名詞・冠詞・代名詞 ……52

1 名詞 52

1-1 数えられる名詞

NOTE 普通名詞 s

1-2 数えられない名詞

NOTE 物質名詞の不定の量 & 抽象名詞の程度の表し方

2 冠詞 56

2-1 不定冠詞 a(an)

2-2 定冠詞 the

3 代名詞 60

3-1 人称代名詞の用法

3-2 話の内容・状況を指す it の用法

3-3 指示代名詞の用法

3-4 不定代名詞の用法

動名詞・to 不定詞 ……66

1 動名詞 66

1-1 基本的用法

1-2 慣用表現

2 to 不定詞 68

2-1 基本的用法

2-2 慣用表現

2-3 疑問詞+to 不定詞

名詞節 ……70

1 that 用法 70

NOTE 同格 that 節

2 whether, if 用法 72

2-1 whether 用法

2-2 if 用法

3 疑問詞用法 73

4 関係代名詞 what 用法 74

形容詞・分詞・原形不定詞・SVO+to 不定詞 ……75

1 形容詞 75

1-1 S+V+C

1-2 S+V+O+C

2 分詞 76

2-1 S+V+C

2-2 S+V+O+C

3 原形不定詞 78

3-1 S+V(知覚動詞)+O+C

3-2 S+V(使役動詞)+O+C

4 SVO+to 不定詞 79

NOTE 無生物主語

There 構文・It の用法 ……80

1 There 構文 80

2 It の用法 81

2-1 It の特別用法

2-2 It~to...／形式主語

2-3 It~that...／形式主語

2-4 It~that...／強調構文

NOTE 強調語句・倒置

名詞・冠詞・代名詞

1 名詞

名詞は人や事物の名前を表す語で、主語・目的語・補語になります。

1-1 数えられる名詞

1 個なのか複数なのかを示し、a(an)を付けたり複数形にします。

a 普通名詞

普通名詞は人・物・事を表し、student(生徒), desk(机), book(本)などの見えるものと、day(日), hour(時間), mile(マイル)などの数量の単位になるものがあります。

リサは ~食べた 一つの卵といくつかのサンドイッチを 昼食に←
Lisa ate an egg and some sandwiches for lunch.

b 集合名詞

集合名詞は人・物・事の集合体を表し、family(家族), crowd(群衆), class(クラス), committee(委員会), public(大衆), staff(職員), team(チーム)などがあります。

悠太の家族は 住んでいます 郊外住宅に←
Yuta's family lives in the suburbs house.

📖 集合体を一つに考える場合は単数扱い

悠太の家族は です 皆大変元気←
Yuta's families are all very well.

📖 集合体の家族の一人一人を重要視する場合は複数扱い

NOTE 普通名詞 s

普通名詞 s は、種類全体や一般的な概念の総称を表す

Dogs are faithful animals. 犬(種類全体)、動物(種類全体)

Oranges are sweet. オレンジ(一般的な概念)

I'm bad at talking to girls. 女の子(一般的な概念)

Gifts are good for family. 贈り物(一般的な概念)

the+普通名詞 s は、一定範囲内にある限られたもの全体を示す

The boxes belong to him. (それらの)箱(全て)

Don't touch the toys on the table. (それらの)おもちゃ(全て)

The foreigners in the room are from U.S.A. 外国人(皆)

a(two など)+pair(s) of+普通名詞 s

a pair of dancers 1 ペアのダンサー

two pairs of trousers 2 組のズボン

人称代名詞の所有格・指示代名詞 these, those・その他数詞+普通名詞 s

I always go to lunch with my friends. 私の友達

Your ideas are useful for our students. 君のアイデア、私たちの生徒

These dresses become nice. これらのドレス

Those hybrid cars sell well. それらのハイブリッド車

My aunt keeps five cats in her villa. 5 匹の猫

many(few, some, any, both, other, all など数量形容詞)+普通名詞 s

I have as many books as you. 多くの本

He has few friends. 友達がわずかしかない

Haven't you some computers? いくつかのコンピューター

Has he any cell-phones? いくつかの携帯電話

There are books on both desks. 両方の机

A Model change into other clothes. ほかの着物

All employees have their duties. 全ての従業員

1-2 数えられない名詞

a(an)がつかず、複数形もありません。

a 固有名詞

国名・地名・人名などで、常に大文字で始めます。

Japan(日本), Paris(パリ), George(ジョージ), April(4月), など

悠太は です 卒業生 東京大学の←

Yuta is a graduate of **the University of Tokyo**.

b 物質名詞

一定の形のない物質などを表します。

water(水), gold(金), iron(鉄), rain(雨), air(空気), smoke(煙), など

チーズとバターは 作られる ミルクで←

Cheese and butter are made of **milk**.

📖 物質名詞の量の表し方

不定の量 / much, (a) little, some, any, no, など

一定の量 / 形 a loaf of bread, a slice of ham, a sheet of paper, など

容器 a bottle of milk, a cup of tea, a bottle of wine, など

単位 a pound of butter, three liters of beer, など

C 抽象名詞

性質・動作・状態などの抽象的な概念を表します。

beauty(美), honesty(正直), peace(平和), success(成功), など

健康は です より良い 富より←

Health is better than **wealth**.

📖 抽象名詞の程度の表し方

much, (a) little, some, any, no, など

NOTE 物質名詞の不定の量 & 抽象名詞の程度の表し方

much／多くの

Much rain has fallen for hours. 大量の雨

He has not had much experience. 多くの経験

a little／少しの・わずかな

There is a little wine in the bottle. 少しのぶどう酒

There is a little hope in my life. わずかな望み

Little／少しの～しかない・～ほとんどない

There is little water in the bottle. 少しの水しかない

I gained little advantage from it. 利益がほとんどない

some／いくらかの・多少の

Give me some coffee. いくらかのコーヒー

He has some courage. 多少の勇氣

any／いくらかの・いくらかの(有無)

Have you any money with you? いくらかのお金

Did you have any sleep? いくらかの眠り

no／少しの～もない

There is no stone on this land. 少しの石もない

She has no freedom in her life. 少しの自由もない

NOTE 名詞's+名詞

生物's+名詞

Shakespeare's plays シェークスピアの作品

My father's foreign car 私の父の外車

無生物's+名詞

日時など／last year's general election 昨年の総選挙

重量・価格・距離など／fifteen minutes' walk 15分の徒歩

ある成句／the world's population 世界の人口

2 冠詞

2-1 不定冠詞 a(an)

不定冠詞 a(an)は名詞の前に置かれます。

子音発音の名詞の前に a、母音発音の名詞の前に an を置きます。

例えば、a European(発音は子音)であり、an hour(発音が母音)です。

このパズルは 完成されなかった 1 日で←

This puzzle was not completed in **a day**.

📖 「1・一つの」とはっきり表す / a+単数名詞

私の母は ~水をやる その花々に 一度 一日に(つき)←

My mother waters the flowers once **a day**.

📖 「~につき=per」を表す / a+単数名詞

エッフェル塔は 見える もっときれいに ある距離・いづらか離れた位置から←

The Eiffel Tower looks more beautiful from **a distance**.

📖 「ある・いづらか」との意味を表す場合もある

できますか あなたは ~与える 私に ヒントを←

Can you give me **a hint**?

📖 「どれでもよいから一つ」との意味合いを含む

ケン は ~買いたいと思っている ハイブリッド車を←

Ken wants to buy **a hybrid car**.

📖 「いくつかありえる中の一つ」を具体的に思い浮かべる

リサは です (ある・例の・あの)頭のいい少女←

Lisa is **a clever girl**.

📖 話し相手の知らない・初めて話題に上る(人・物)に付ける

ジョンは ~望んでいる になることを エジソンのような人←

John wishes to be **an Edison**.

📖 「a+固有名詞」で「性質・才能・特徴のある人」を表す

悠太は であった ひとつの誇りになる人 私達のクラスで←

Yuta was **a pride** in our class.

📖 「a+抽象名詞」で抽象「誇り」から具体「ひとつの誇りになる人」へ転換する

その住職は ~使いました **ある高級な石を** ~作るために 墓を←

The chief priest has used **a luxury stone** to make a grave.

📖 「a+形容詞+物質名詞」で不定形の物質を限定して表す

その食品会社は ~期待されている **ある急激な成長を** 今年度に←

The food company is expected **a rapid growth** in this fiscal year.

📖 「a+形容詞+抽象名詞」で不定形の概念を限定して表す

NOTE 不定冠詞 a(an)の特殊な位置

what(such, quite, rather, many, just)+a+(形容詞)+名詞

What a pretty picture that is! なんて美しい絵

I never saw such a tall man. こんなに背の高い人

He is quite a rich man. 全くの大金持ち

This is rather a clever book. まあ気のきいた本

I tried many a time. 幾度も

The new business is just a success. まさに成功

how(so, as, too)+形容詞+a+名詞

How fine a sight here is! なんとすばらしい光景

We waited so long a time. こんなに長い時間

He is as good a man as any. 誰にも劣らぬ良い人

It was too great a sum. あまりにも大きい額

half+a+名詞

I can walk half a mile in 10 minutes. 半マイル

2-2 定冠詞 the

定冠詞 the は、特定のもをを表す名詞の前に置かれます。

子音発音の名詞の前では ðə・ザ、母音発音の名詞の前では ði・ジと発音します。

エリは ~飼っています 一匹の犬を←

Eri keeps **a dog**.

📖 前に出た名詞に付ける

その犬は です とても小さい←

The dog is very small.

~閉めてください **その窓を**←

Please close **the window**.

📖 相手にそれとわかる名詞につける

太陽が 輝いています **空に**←

The sun is shining in **the sky**.

📖 唯一のもをを表す名詞につける

NOTE: the earth, the sea, the moon, the east, など

高齢な人々は ではない より幸福な(状態) **若い人々より**←

The old are not happier than **the young**.

📖 the+形容詞は「~な人々」を表す

両方の選手が います 優れて 世界選手権では←

Both the players are good in the world championship.

📖 both, half, double, allなどで限定された名詞につける

春は です **最初の季節** その年の←

Spring is **the first season** of the year.

📖 the first(最初の), the last(最後の), the very(まさにその), the only (唯一の), the same(同様の)などで限定された名詞につける

校長先生は 私達の学校の←1 です 英語を上手に話す人←2

The principal of our school is a good English speaker.

📖 説明の節や of-phrase 句などで限定された名詞につける

イギリスでは、塩は 売られている **ポンド単位で**←

In England, salt is sold **by the pound**.

📖 単位を表す the

悠太は ~たたいた **私の肩の部分**を←

Yuta patted **me on the shoulder**.

📖 身体の一部を表す名詞の前に付く the

NOTE 一家・国民・政治・固有名詞など

家族・一家

the Kennedys ケネディー一家・夫妻 など

国民の総称

the Japanese 日本人 the Christians キリスト教信者 など

政治形態の国名

the United Kingdom 英国 など

of-phrase を含む固有名詞

the University of Tokyo 東京大学

the Ministry of Foreign Affairs 外務省 など

単数固有名詞／海洋・海峡・半島・運河・川・船・列車・公共の建物・新聞

the Pacific 太平洋 the English Channel イギリス海峡

the Scandinavian Peninsula スカンジナビア半島

the Suez Canal スエズ運河 the Shinano River 信濃川

the Titanic タイタニック号 the Shinkansen 新幹線

the Louvre ルーブル美術館 the Times タイムズ紙 など

複数固有名詞／山脈・群島

The Rockies ロッキー山脈

the Falkland Islands フォークランド諸島 など

3 代名詞

代名詞は名詞の代わりをする語で、次のようなものがあります。

人称代名詞／I, we, you, he, she, it, they などの人称・性・数を持つ代名詞

指示代名詞／this, these, that, those などの目の前にあるものを指したり、

文中で前後に述べた語句の内容を指したりする代名詞

不定代名詞／some, any, one などの不特定の人や物を指す代名詞

疑問代名詞／who, what, which (疑問副詞／when, where, why, how)

3-1 人称代名詞の用法

人称代名詞は、I (主格), my (所有格), me (目的格)と格変化をします。

主格／主語(～は・が)になる

所有格／名詞の前に置かれ所有(～の)を表す

目的格／目的語(～を・に)になる

所有代名詞(～のもの)は「所有格+名詞」を一語で表現

再帰代名詞(～自身)は目的語になる

それぞれの人称・単数・複数は次の通りです。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞	再帰代名詞
一人称 単数	I	my	me	mine	myself
複数	we	our	us	ours	ourselves
二人称 単数	you	your	you	yours	yourself
複数	you	your	you	yours	yourselves
三人称 単数	he	his	him	his	himself
	she	her	her	hers	herself
	it	its	it	-	itself
複数	they	their	them	theirs	themselves

a 人称代名詞

私たちは 働いています 製造工場で←

We work in a manufacturing factory.

📖 we は主語・主格になる

リサは ~なった まさに病気に←

Lisa got very sick.

📖 Her は所有格、her は目的格

彼女の母は ~看病した 彼女を←

Her mother took care of **her**.

あなた達は皆が 出かけた 買い物に←

You all went out for shopping.

📖 主格・目的格+all は同格として用いる

彼は ~持っている 彼独自のセンスを スポーツの←

He has **his own** sense of sports.

📖 所有格+own は「~独自の」という意味になる

人々は 言っています ということを 社会が ある 真ただ中に 不景気の←

They are saying that society is in the midst of the recession.

📖 They, You, We は漠然と「人々は」を表す

b 所有代名詞

この消しゴムは です 私のもの←1、

そして それらの鉛筆は です 彼らのもの←2

This eraser is **mine**, and those pencils are **theirs**.

📖 my eraser=mine, their pencils=theirs と一語表現している

c 再帰代名詞

ジョンは ~紹介した 彼自身を リサに 事務所で←

John introduced **himself** to Lisa at the office.

📖 前置詞の目的語 Gold is valuable in itself. それ自体に

慣用表現 I laughed in spite of myself. 思わず

強意用法 I myself did it. 私自身が

3-2 話の内容・状況を指す it の用法

人称代名詞の it には、話の内容・状況を指す it の用法、また It の特別用法・It の形式主語・It の強調構文があります。

ここでは、話の内容・状況を指す it の用法を理解します。

私は ~残した 伝言を 机に←1、

しかし ジョンは ~理解できなかった それを←2

I left a message on my desk, but John couldn't understand **it**.

📖 it はすでに出た単数名詞 a message を指している

ケン は ~したかった 飛ぶことを そこに 直接に←1、

しかし それは ではなかった 可能←2

Ken wanted to fly there directly, but **it** wasn't possible.

📖 it は to 不定詞句を指している

エリは ~好みます ~食べることを 甘いものを←1、

しかし 彼女は ~認めようとしない そのことを←2

Eri likes eating sweets, but she won't admit **it**.

📖 it は前の節を指している

スミス夫妻が けんかをした

誰もいない 思ったのは そんなことを

←

Mr. and Mrs. Smith quarreled.

Nobody would have thought **it**.

📖 it は前の話を指している

ほら、ベルよ

それは 配達人だ

"Listen. That's the bell."

"**It's** the delivery clerk."

📖 It はその場の状況で相手にそれとわかる人を指している

あの騒音は 何だった

それは 私達の犬だった

"What was that noise?"

"**It** was our dogs."

📖 It はその場の状況で相手にそれとわかる事を指している

3-3 指示代名詞の用法

a 具体的な人やものを指す this(these), that(those)

心理的・距離的に、近い位置にある人・物を指す this「こちら・これ」単数・these「これら」複数、遠い位置にある人・物を指す that「あちら・あれ」単数・those「あれら」複数を用います。

こちらが です マリ←1、そして あちらが です エリ←2

This is Mari and that is Eri.

📖 近い位置にある人を this、遠い位置にある人を that で表している

私は ~好まない これらを←1、しかし 私は ~いただきますよ あれらを←2

I don't like these, but I'll take those.

📖 近い位置にあるものを these、遠い位置にあるものを those で表している

b 話の内容を指す this, that

私たちは あります 権利が ~表現する 私たちの考えを 自由に←

これは と呼ばれています 自由 言論の←

We have the right to express our thoughts freely.

This is called freedom of speech.

📖 This は前の話の内容を指す

マリは ~言った ということを 彼女が ~会った エリに パーティーで←1、

しかし そのことは だった 嘘←2

Mari said that she had met Eri at the party, but **that was a lie.**

📖 that は前の節の内容を指す

c 名詞の反復をさける that(those)

空気は 九州の です もっときれい それより 東京の←

The air of Kyushu is cleaner than that of Tokyo.

📖 前出の名詞 the air を繰り返さずに that を代用する

3-4 不定代名詞の用法

不定代名詞は、漠然と人や物をさす代名詞です。

some, any, one, other, another, either, neither, both, each, all などが
あり、主語・目的語・補語になります。

ある人たちは ~信じている ということを 金が である 全て←

Some believe **that money is everything.**

📖 some / ある人たち・あるもの

私は ~尊敬しています 何人かを 歴史上の 近代の←

I respect **some** on the history of modern times.

📖 some / 何人か・いくらか

悠太は ~理解できなかった いくつかを 講義の←

Yuta didn't understand **some** of the lectures.

📖 some / 多少・いくつか

あなたは ~持って行ってよい どれでも これらの本の←

You may take **any** of these books.

📖 any / (のうち)どれでも

ジョンは ~貸さない 彼のノートを だれにも 学生の←

John doesn't lend his notes to **any** of the students.

📖 any / (のうち)だれにも

しますか だれかが クラスメートの 賛成する あなたに←

Do **any** of the classmates agree with you?

📖 any / (のうち)何か・どれか・だれか

私は ~失くしてしまいました 自分の時計を←

I have lost my watch.

📖 前出の名詞 watch を反復せずに one を用いる

NOTE: it は前に出た名詞と同じもの、one は同種類のものの一つ

私は ~買う必要があります もうひとつを←

I must buy **one**.

ケン は ～います 二人の兄弟が←

一人は います 東京に←1、そして もう一人は います 福岡に←2

Ken has two brothers. **One** is in Tokyo, and **the other** is in Fukuoka.

📖 one~/一人は~, the other~/もう一人は~

一人は 彼の友達の です フランス人←1、

そして 他の人たちは です アメリカ人←2

One of his friends is French, and **the others** are American.

📖 the others/他の人たち・他のもの

私は ~好まない この帽子を←

~見せてください 私に もう一つのものを←

I don't like this cap.

Show me **another**.

📖 another/別のもの・もう一つのもの

いずれかは その二つの答えの 認められるでしょう 委員会によって←

Either of the two answers will be accepted by the committee.

📖 either/いずれか

二人とも 彼らの ~話す ドイツ語を←1、

しかし どちらも~ない ~話す フランス語を←2

Both of them speak German, but **neither** speaks French.

📖 both/二人とも・両方、neither/どちらも~ない

それぞれは 子供達の ~受け取りました 2000 円を←

Each of the children has received 2000 yen.

📖 each/それぞれ・めいめい

全ては 私の家族の ~待っていました 悠太を 駅で←

All of my families were waiting for Yuta at the station.

📖 人の場合の全体 all は複数扱いになる

全ては 私達の家具の 損害を受けました 氾濫により 川の←

All of our furniture was damaged by the flooding of the river.

📖 数えられない名詞の全体 all は単数扱いになる

動名詞・to 不定詞

1 動名詞

動名詞は、原形動詞+ing「～すること」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

1-1 基本的用法

～読むことは 英語の本を ではない 簡単な(状況) ←

Reading English books is not easy.

📖 動名詞「～読むこと」に「～は」が付いて主語になる

NOTE: 動名詞は、to 不定詞の名詞用法を用いても同じ意味になる

= To read English books is not easy.

私達は ～楽しみました ～見ることを 祭りの行進を←

We enjoyed watching a festival parade.

📖 動名詞「～見ること」に「～を」が付いて目的語になる

エリの趣味は です ～唄うこと 流行歌を←

Eri's hobby is singing popular songs.

📖 動名詞「～唄うこと」が be 動詞「～です」にかかり補語になる

NOTE: 進行形(be+～ing) は「～している」

動名詞(be+～ing)は「～することです」

私は ～好みます ～することを テニスを←

I am fond of playing tennis.

📖 動名詞 playing は前置詞 of の後ろで目的語になる

～許してください 私を ～返事をしないことに対して あなたの eメールに←

Please forgive me for not answering your e-mail.

📖 否定形／前置詞+not+～ing

悠太は ～誇っています とったことを その賞を←

Yuta is proud of having won the prize.

📖 完了形／前置詞+having+過去分詞

1-2 慣用表現

私は ～感じられずにいられなかった 気の毒に 彼女を←

I **couldn't help feeling** sorry for her.

📖 ～せずにいられない／cannot help～ing

私は ～話したい気がしました あの愛想の良い女性に そのとき←

I **felt like talking** to that amiable woman then.

📖 ～したい気がする／feel like～ing

私達は ～会うのを楽しみにしています 悠太の婚約者に←

We **are looking forward to meeting** Yuta's fiancé.

📖 ～することを楽しみにしています／be looking forward to～ing

～選ぶことができない どこで働くかを 私の人生において←

There is **no selecting** where to work in my life.

📖 ～することができない／There is no～ing

(それは) ～わめいても無駄である そのように 法廷で←

It is **no use shouting** like that in a court.

📖 ～しても無駄だ／It is no use～ing

中国は ～訪れる価値がある 歴史ある場所を←

China **is worth visiting** historical places.

📖 ～する価値がある／be worth～ing

あなたは ～勉強することに慣れていません 夜遅く←

You **are not used to studying** late at night.

📖 ～することに慣れている／be used to～ing

NOTE: よく～したものだ／used to+原型動詞

私は ～するのに忙しい 自分の仕事を 事務所で←

I **am busy doing** my job in my office.

📖 ～するのに忙しい／be busy～ing

あなたは ～従うことに反対しています 意見に 彼らの多くの人の←

You **object to following** the opinion of many of them.

📖 ～することに反対する／object to～ing

2 to 不定詞

to 不定詞は、基本 5 文型の名詞用法、修飾語の形容詞用法・副詞用法があります。ここでは、基本 5 文型の名詞用法を理解します。

to 不定詞の名詞用法は、to+原形動詞「～すること」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

2-1 基本的用法

～登ることは タワーに です 大変おもしろい←

To climb the tower is a lot of fun.

📖 to 不定詞「～登ること」に「～は」が付いて主語になる

悠太は ～決心した になることを 代表者 行事の←

Yuta decided to become a representative of the event.

📖 to 不定詞「～なること」に「～を」が付いて目的語になる

私の父の仕事は です ～買い付けること 衣服を 上海において←

My father's job is to buy clothes in Shanghai.

📖 to 不定詞「～買い付けること」が、be 動詞「～です」にかかり補語になる

2-2 慣用表現

彼は ～約束した 来ないことを ふたたび ここに←

He promised not to come again here.

📖 否定／not to～

リサは ように思います になっている 病気の(状態)←

Lisa seems to have been ill.

📖 完了形／to have been～

その石は あまりに重いので←1 彼には 持ち上げることができない←2

The stone is too heavy for him to lift.

📖 あまりに～ので...できない／too～to...

悠太は です 金持ち ～買うのに十分に その4Kテレビを←

Yuta is rich **enough to buy** the 4K television.

📖 ～するの十分に／enough to～

赤ん坊は 寝ているように思われる すやすやと そのソファで←

The baby **seems to be asleep** peacefully on the sofa.

📖 ～のように思われる／seem to～

劇場は たまたま混雑していた そのイベントのため 昨日←

The theater **happened to be crowded** for the event yesterday.

📖 たまたま～する／happen to～

マリは **きっと来ます** 9時までに←

Mari **is sure to come** by nine o'clock.

📖 **きっと～する**／be sure to～, **確かに～する**／be certain to～, **～しそうだ**／be likely to～, **熱心に～する**／be eager to～, など

2-3 疑問詞+to 不定詞

「疑問詞+to 不定詞」は、「何を what, いつ when, どこで where, どのように how, どちらを which + ～するか to 不定詞」という意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

何を習うかが 次に です 私達の疑問←

What to learn next is our question.

📖 「何を習うか」に「～が」が付いて主語になる

～言ってください 私に **いつ去るべきかを** 福岡を←

Please tell me **when to leave** Fukuoka.

📖 「～いつ去るべきか」に「～を」が付いて目的語になる

問題は でした **～どこで食べるか** 昼食を←

The problem was **where to eat** lunch.

📖 「～どこで食べるか」が be 動詞「～です」にかかり補語になる

名詞節

1 that 用法

名詞節の that 用法は「～**ということ**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

ということは ある イタリアンレストランが 近くに ここの
です 大変ありがたい この地域にとって←

That there is an Italian restaurant near here
is very thankful for this area.

📖 that「～ということ」に「は」が付いて、名詞節が主語になる

当然 私達は ～知っています
ということを 私達の文化が と違っている あなたの国←

Naturally we know **that** our culture is different from your country.

📖 that「～ということ」に「を」が付いて、名詞節が目的語になる

NOTE: 目的語になる that は、know, wish, hope, think, believe など慣用的な動詞において省略される

私は ～心配しています
ということを (それは) になるだろう 雨模様 朝から 明日の←

I am afraid **that** it will be rainy from the morning of tomorrow.

📖 be 動詞+afraid (certain, sorry, sure など)は、that 節を目的語にとる

先生は ～教えました 私達に **ということ**を 英語が である 世界的な国際語←

The teacher taught **us**
that English was a global international language.

📖 名詞節が S+V+O+O の直接目的語になる

現実的な問題は です
ということ 私が ～持っていない お金を 賃貸するための 部屋を←

The realistic problem is **that** I have no money to rent a room.

📖 名詞節が be 動詞「～です」にかかり補語になる

NOTE 同格 that 節

名詞節の同格 that 節は「～という...」の意味で、that 節がすぐ前の名詞を説明して同格となります。

同格の that 節をとる名詞は、belief(信念), decision(決定), fact(事実), idea(考え・意見), message(伝言・伝達事項), news(ニュース・知らせ), question(質問・疑問), rumor(うわさ・風評), thought(考え)など

噂が という マリの家族が 住んでいる ロンドンに 話されています 教室で←

The rumor that Mari's family is living in London is talked in the class.

📖 名詞 rumor を名詞節が説明して同格になる

コロンブスは ~貫いた 信念を という 世界が である 丸い(形)←

Columbus went through the belief that the world is round.

📖 名詞 belief を名詞節が説明して同格になる

しましたか あなたは ~思いつく 良いアイデアを という 人々が 驚くだろう←

Did you think of the good idea that people will be surprised?

📖 名詞 idea を名詞節が説明して同格になる

私は ~知っています その事実を という 私の同期が 昇進した 営業部長に←

←

I know the fact that my colleague was promoted to a sales manager.

📖 名詞 fact を名詞節が説明して同格になる

私は ~同意しません その考えに という あなたが 発表する 大衆に 明日←

I don't agree to the thoughts that you present to the public tomorrow.

📖 名詞 thoughts を名詞節が説明して同格になる

しましたか あなたは ~聞く ニュースを という ジョンが ~合格した 試験に←

Did you hear the news that John passed the exam?

📖 名詞 news を名詞節が説明して同格になる

2 whether, if 用法

名詞節の whether, if 用法は「**～かどうか**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

2-1 whether 用法

かどうかは 悠太が 来る**か来ない** ではない 明らか 今現在←

Whether Yuta will come or not is not clear as of now.

📖 whether「～かどうか」に「は」が付いて、名詞節が主語となる

私は ～尋ねた エリに **かどうかを** 彼女が ～ほしい 何かを 温かい←

I asked Eri **whether she wanted something hot.**

📖 whether「～かどうか」に「を」が付いて、名詞節が目的語となる

その不明な点は です **かどうか** ケンが ～受け入れるつもり 私達の申し出を←

The unclear point is **whether Ken will accept our offer.**

📖 名詞節が be 動詞「～です」にかかり補語になる

2-2 if 用法

if 用法は「**(やや略式に)～かどうか**」の意味で、whether よりも口語的で、目的語になる場合のみ使われ、主語または補語になる時は whether を使います。

ジョンは ～疑った **かどうかを** マリが 戻って来る 夕食時まで←

John doubted **if Mari would come back by dinner time.**

📖 if 「～かどうか」に「を」が付いて、名詞節が目的語となる

3 疑問詞用法

名詞節の疑問詞用法は、疑問詞「**誰か** who、**どれか** which、**何か** what、**いつか** when、**どこか** where、**なぜか** why、**どうか** how」という意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

疑問詞が文中で名詞節をつくることを間接疑問と言い、語順は平叙文と同じで「疑問詞＋主語＋動詞」の語順になります。

(のは)いつかが ケンが 出発する 東京へ 告げられていない 家族に まだ←
When Ken leaves for Tokyo has not been told to his family yet.
📖 when「～いつか」に「が」が付いて、名詞節が主語になる

私達は ～知りたい (のは)誰かを 社長が 選ぶ 指導者として 我々の中から←
We want to know who the president chooses as a leader among us.
📖 who「～誰か」に「を」が付いて、名詞節が目的語になる

しますか あなたは ～覚えている (のは)どこかを あなたが ～会った マリに←
Do you remember where you met Mari?
📖 疑問文／名詞節が目的語になる

～尋ねなさい 悠太に (のは)何かを 彼が した 9時頃に 昨夜←
Ask Yuta what he has done about nine o'clock last night.
📖 命令文／名詞節が目的語になる

問題は です (のは)なぜか 私達が ～終えなければならない この仕事を 明日までに←
The problem is why we must finish this job by tomorrow.
📖 名詞節が be 動詞「～です」にかかり補語になる

4 関係代名詞 what 用法

名詞節の関係代名詞 what 用法は、what それ自体に先行詞を含んで「**～ところのこと・もの・ひと**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

ところのことは 私の叔母が 言った 福岡市について

でした 話 興味をを起こさせる 大変←

What my aunt said about Fukuoka city

was the story interesting very much.

📖 what「～ところのこと」に「は」が付いて、名詞節が主語になる

悠太は ～するつもりです

ところのことを 彼が することができる あなたのために←

Yuta will do **what** he can do for you.

📖 what「～ところのこと」に「を」が付いて、名詞節が目的語になる

私は ～信じている

ところのことを 私の叔父が 言った 結果について 試験の←

I believe **what** my uncle said about the result of the examination.

📖 名詞節は目的語になる

限り 私が 知る←1、

ケン は ではない ところのひと 彼が 以前そうであった←2

As far as I know, Ken is not **what** he used to be.

📖 名詞節が be 動詞「～ではない」にかかり補語になる

1 形容詞

形容詞は「どんな性質・状態なのか」を述べる語で、叙述用法と限定用法があります。

叙述用法は「He is tall 彼は背が高い」と有様を述べる用法です。

限定用法は「big box 大きな箱」と名詞・代名詞を直接に修飾する用法です。

ここでは、叙述用法の第2文型 **S+V+C** で主語を説明する、
第5文型 **S+V+O+C** で目的語を説明する補語用法を理解します。

1-1 S+V+C

全てのドアが だった 開いた(状態) 突風により←

All the **doors** were **open** by a gust of wind.

📖 補語が主語を説明

私は (に)なります 緊張した(状態) ティーショットの前に ゴルフの←

I get **nervous** before a tee shot of golf.

📖 補語が主語を説明

悠太は (を)保った 平静な(態度) 地震の間 揺れている 激しく←

Yuta kept **calm** during the earthquake shaking intensely.

📖 補語が主語を説明

1-2 S+V+O+C

マリは (に)しておいた 全てのドアを 開けた(状態)←

Mari left all the doors open.

📖 補語が目的語を説明

あなたは (に)保たなければならない 部屋を きれいな(状態)←

You must keep your room clean.

📖 補語が目的語を説明

エリは (と)わかった 宿題が やりかけの(状態)←

Eri found her homework half-finished.

📖 補語が目的語を説明

2 分詞

分詞は現在分詞と過去分詞があり、基本 5 文型の補語用法、名詞を直接に修飾する用法、そして分詞構文があります。

ここでは、現在分詞と過去分詞の第 2 文型 **S+V+C** で主語を説明する補語用法、第 5 文型 **S+V+O+C** で目的語を説明する補語用法を理解します。

2-1 S+V+C

a 現在分詞

現在分詞は、「～している・しながら・・・」という進行の状態を表します。

子供たちは 立っていた ～待ちながら バスを←

The children stood waiting for a bus.

📖 補語が主語を説明

(それは) ままであった 雨が降っている 一週間←

It kept raining for a week.

📖 補語が主語を説明

b 過去分詞

過去分詞は、「～されている・なっている・・・」という受身の状態を表します。

悠太は ように見えた 満足している 私の説明について←

Yuta looked satisfied with my explanation.

📖 補語が主語を説明

その家は ままである おおわれている 深い雪で←

The house remains covered with deep snow.

📖 補語が主語を説明

先生は (状態で)座っていた 囲まれている 生徒たちに←

The teacher sat surrounded by his students.

📖 補語が主語を説明

2-2 S+V+O+C

a 現在分詞

現在分詞は、「(目的語)が～している」という進行の状態を表します。

エリは ～(のを)見た 悠太が ～している テニスを 放課後←
Eri saw Yuta playing tennis after school.

📖 補語が目的語を説明

私は ～(のを)感じた 私の車が 揺れている 激しく←
I felt my car shaking terribly.

📖 補語が目的語を説明

あなたは ～(のを)そのままにはいけない その火が 燃えている 庭で←
You must not keep the fire burning in the garden.

📖 補語が目的語を説明

b 過去分詞

過去分詞は、「(目的語)が～されている・なっている」という受身の状態を表します。

私は ～(のを)聞いた 私の名前が 呼ばれている 後ろから←
I heard my name called from behind.

📖 補語が目的語を説明

時に ケンが 起き上がった←1、

彼は ～(の)に気づいた 足が 折れている←2

When Ken got up, he found his leg broken.

📖 補語が目的語を説明

3 原形不定詞

原形不定詞は「to なし不定詞」と呼ばれ、知覚・使役を表す動詞と共に使われ、第5文型 S+V+O+C で目的語を説明する補語用法を理解します。

3-1 S+V(知覚動詞)+O+C

知覚動詞は、see(見る), hear(聞く), feel(感じる), find(見つける), notice(気づく), observe(気づく), watch(見守る), など

私は ~(のを)見た マリが ~出て行く その部屋を 昨夜←

I saw Mari leave the room last night.

📖 補語が目的語を説明

私は ~(のを)感じた 私の手が 震える 最初のティーグラウンドで←

I felt my hands tremble at the first teeing ground.

📖 補語が目的語を説明

3-2 S+V(使役動詞)+O+C

使役動詞は、make させる(強制), let させてください(許可), have させる(使役), have してもらおう(依頼), など

ケン は ~させた 息子に ~習う 英語を イギリスで←

Ken made his son learn English in the U.K.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「息子に習わせた」となる

~させてください 私に ~説明する その報告書を 詳細に 今日の会合で←

Let me explain the report in detail at today's meeting.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「私に説明させてください」となる

私は ~させたくない あなたを 行く 夕食に 彼との←

I don't like to have you go for a dinner with him.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「あなたを行かせたくない」となる

私は ~してもらった 時計を 修理する 人にお店の←

I had my watch mend by the person of the shop.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「時計を修理してもらった」となる

4 SVO+to 不定詞

SVO+to 不定詞は希望、予測・判断、許可、依頼・命令を表す動詞と共に使われ、第5文型 S+V+O+C で目的語を説明する補語用法を理解します。

私は ~望んでいます あなたが 料理をする(のを) 私のために←

I want you to cook for me.

📖 Want(望む、してほしいと思う), など

人々は 信じています 松山が 天才である(と) 世界のゴルファーの間で←

The people believe Matsuyama to be a genius among world golfers.

📖 Believe(信じる), expect, think(思う), find(わかる), feel(感じる), など

私の父は ~許してくれた 悠太が 勉強する(のを) 外国で←

My father allowed Yuta to study abroad.

📖 allow(許す), permit(許す), enable(可能にする), など

私の母は ~言った 私に 食べる(ように) 野菜を もっと←

My mother told me to eat vegetables more.

📖 tell(告げる), ask(頼む), request(要求する), remind(気付かせる), など

NOTE 無生物主語

英語では人や動物を主語にしないで、物・抽象的な概念を主語にする無生物主語の用法があります。

健康は ~可能にした 彼が 働くことを 昼夜←

Good health enabled him to work day and night.

📖 主語+enable, cause, force, allow+目的語(人)+to 不定詞

その嵐は ~妨げた 私達が 行くことを 船旅に←

The storm prevented us from going on the boat trip.

📖 主語+prevent, stop, keep+目的語(人)+from~ing

この道は ~導きます あなたを 駅に 近道として←

This road takes you to the station as a short cut.

📖 主語+take, lead+目的語(人)+to+名詞

There 構文・It の用法

1 There 構文

There 構文は、主語が文中に置かれ「...主語が～ある」という意味になります。

(そこに)ある ただ一軒だけのコンビニが この地域には←
There is only one convenience store in this area.

📖 主語 one house が単数／There is～

(そこに)あった 二つの橋が 川を横切る 以前←
There were two bridges across the river before.

📖 主語 two bridges が複数／There are～

ありますか(そこに) いくらかのミルクが そのビンには←
Is there any milk in the bottle?

📖 疑問文／Is there～

(そこに)あるでしょう ダンスパーティーが 公民館で 明日←
There will be a dance party at the community center tomorrow.

📖 未来形／There will be～

(そこに)まったくありませんでした 時間が ～説明をする その状況を←
There was no time to explain the situation.

📖 強い否定文／There is no～

(そこに)ありました 知らせが 結婚の 私の息子から 今←
There has been news of the marriage from my son now.

📖 現在完了形／There have(has)+過去分詞～

問題は である ということ (そこに)ある 欠如が 政策の←
The problem is that there is lack of policy.

📖 there 構文が名詞節の that 用法の中で使われる

2 It の用法

2-1 It の特別用法

It の特別用法は、It が主語になり天候・時間・費用・距離・明暗・漠然とした状況の意味を表しますが、It(それは)は日本語訳されません。

(それは) 雪が降るでしょう 午後は←

It will snow this afternoon.

📖 天候

(それは) かかりました (私に) かなり長い時間 着くのに そこへ←

It took me quite a long time to get there.

📖 時間

(それは) かかりました おおよそ 400 万円 ~買うために ハイブリッドカーを←

It costs about four million yen to buy the hybrid car.

📖 費用

(それは) です 長い道のり ここから駅まで←

It is a long way from here to the station.

📖 距離

前に (それは) ~なる 暗く←1、~言いましょう さよならを←2

Before it gets dark, let's say good-by.

📖 明暗

(それは) います 全てに終わって 私にとって←

It is all over with me.

📖 漠然とした状況

2-2 It~to...／形式主語

It~to...／形式主語は「...するのは～だ」という意味で、to...以下が真主語になり、
形式主語 It(それは)は日本語訳されません。

(それは) です やさしい ～追加するのは 絵を 文書に←
It is easy to add pictures to the document.

📖 It is~to...／～の部分は名詞・形容詞になる

(それは) ～にさせます 私を 悲しい(状態) 思うのは 彼女の死を←
It makes me sad to think of her death.

📖 It~to...／～の部分は一般動詞になることもある

ですか (それは) 難しい 彼が ～読むのは 本を 英語の←
Is it difficult for him to read books in English?

📖 It~for~to...は「だれが...するのは～だ」という意味で、「for+固有名詞・代名詞の目的格」は to 不定詞の意味上の主語で行為者を表す

(それは) でした 不注意 彼女の 出かけるのは 一人で←
It was careless of her to go out alone.

📖 It is~of~to...は、「It is+人の性質・態度の形容詞」+「of+固有名詞・代名詞の目的格」になり、「...するのは～の～だ」という意味で、to 不定詞の意味上の主語の性質・態度を表す

NOTE: 性質・態度の形容詞 kind, nice, clever, polite, stupid, silly, など

2-3 It~that...／形式主語

It~that...／形式主語は「...(という)のは・が~だ」という意味で、that 節が真主語になり、形式主語 It (それは)は日本語訳されません。

(それは) です 重要な(こと) (という)のは あなたが ~従う その規則に←

It is important that you follow the rules.

📖 It is+形容詞+that...

(それは) 言われています (という)のが 彼は である 働き者 この商店街で←

It is said that he is a hard worker in this shopping arcade.

📖 It is+過去分詞+that...

ですか (それは) 残念 (という)のは 彼女が 来ない 私達のパーティーに←

Is it a pity that she doesn't come to our party?

📖 Is it+名詞+that...

(それは) です あなた次第 かどうかは あなたが 留まるか留まらない ここに←

←

It is up to you whether you stay or not here.

📖 It is~whether...or not

(それは) はっきりしていない (のは)なぜかが 彼が 行く 外国に←

It is not clear why he goes to the foreign country.

📖 It is~疑問詞 who, which, what, when, where, why, how

2-4 It~that...／強調構文

It~that...／強調構文は「...(という)のは・が~だ」という意味で、~の部分に強調したい主語・目的語・補語・副詞・句・節などを置きます。

(それは) でした **私** (という)のは ~会った ケンに ちょうど10時に 昨日の←
It was I that met Ken just at ten o'clock of yesterday.

📖 主語の強調

(それは) でした **ケン** (という)のは 私が ~会った ちょうど 10 時に 昨日の←

It was Ken that I met just at ten o'clock of yesterday.

📖 目的語の強調

(それは) でした **昨日** (という)のは 私が ~会った ケンに ちょうど10時に←
It was yesterday that I met Ken just at ten o'clock.

📖 副詞の強調

(それは) でした **ちょうど10時** (という)のは 私が ~会った ケンに 昨日←
It was just at ten o'clock that I met Ken yesterday.

📖 句の強調

(それは) でした **から ケンが いた 怠けて** (という)のは ケンが 失敗した←
It was because Ken was lazy that Ken failed.

📖 節の強調

NOTE 強調語句・倒置

動詞を強調する助動詞 do(does, did)

してください **ぜひとも出席する** パーティーに←

Please **do be present** at the party.

📖 助動詞 do(does, did)+原形動詞で、動詞を強調して「ぜひとも～する」を表す

very, oneself, on earth などの強調語句

これは です **まさにその**レコード ところの 私が ～探していた←

This is the **very** record that I was looking for.

📖 名詞を強調する very(まさにその)

大統領**彼自身が** 言った そのように←

The President **himself** said so.

📖 名詞を強調する再帰代名詞 oneself(～自身)

一体何を←1 ですか あなたは ～している **ここで**←2

What **on earth** are you doing here?

📖 疑問詞を強調する on earth(一体～)

強調のため倒置「So, Neither + V + S」

彼女は 行きました 映画に←

She went to the movies.

そのようにしました 私も←

So did I.

📖 So+動詞 did+主語 I

彼は 好みません お茶を←

He doesn't like tea.

また好みません 私も←

Neither do I.

📖 Neither+動詞 do+主語 I